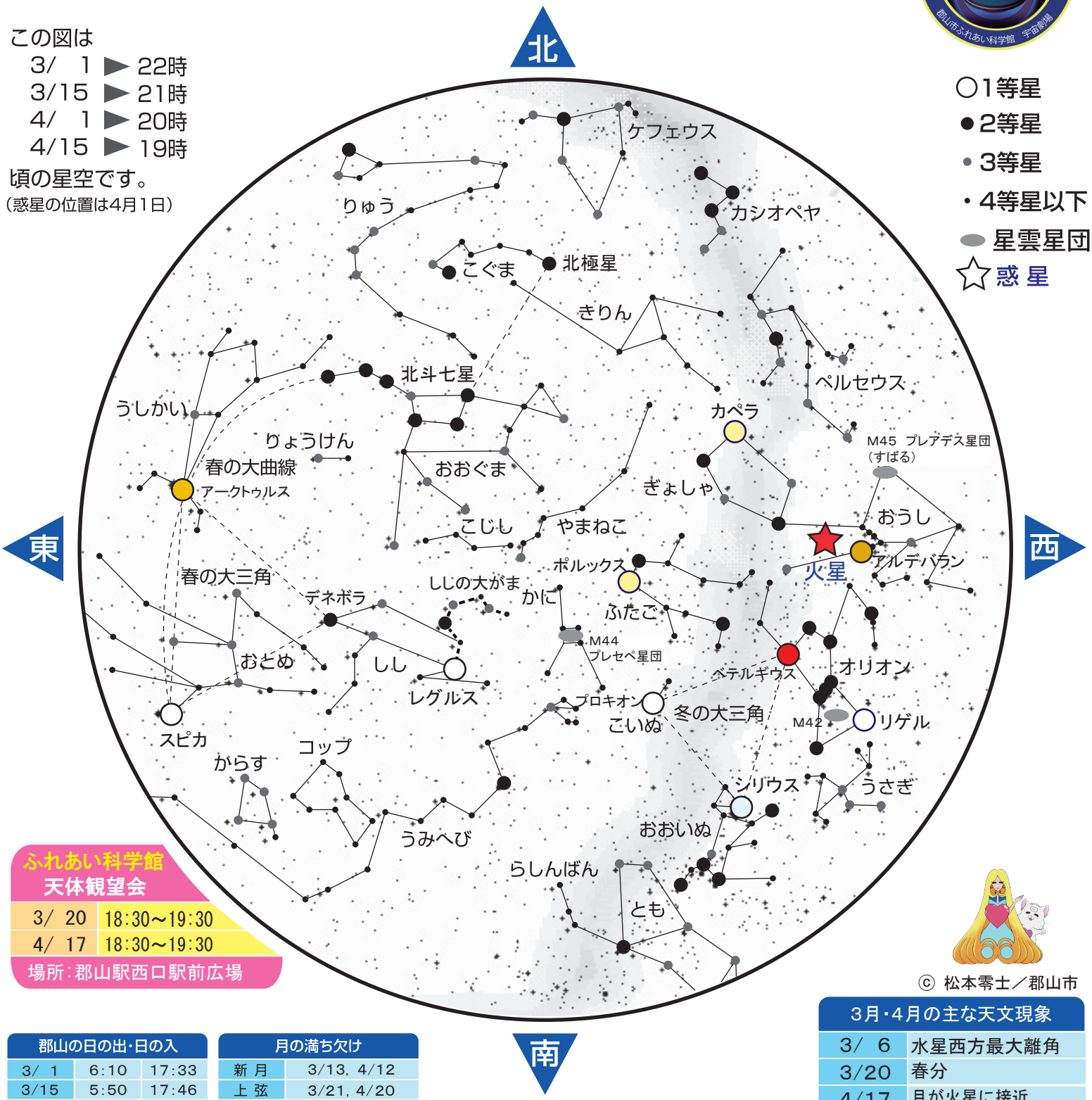
2021年 3月▶4月の星空

この図は
3/ 1 ▶ 22時
3/15 ▶ 21時
4/ 1 ▶ 20時
4/15 ▶ 19時
頃の星空です。
（惑星の位置は4月1日）

○1等星
●2等星
・3等星
・4等星以下
星雲星団
☆惑 星



ふれあい科学館 天体観望会

3/ 20	18:30～19:30
4/ 17	18:30～19:30

場所：郡山駅西口駅前広場

© 松本零士／郡山市

郡山の日の出・日の入		
3/ 1	6:10	17:33
3/15	5:50	17:46
4/ 1	5:24	18:01
4/15	5:04	18:14

月の満ち欠け	
新 月	3/13, 4/12
上 弦	3/21, 4/20
満 月	3/29, 4/27
下 弦	3/ 6, 4/ 4

※上弦、下弦は半月です。

3月・4月の主な天文現象	
3/ 6	水星西方最大離角
3/20	春分
4/17	月が火星に接近
4/22	４月こと座流星群極大

季節の移り変わりとともに、見られる星座が変わってきました。西の空には冬の星座、東の空では春の星座と２つの季節の星座を楽しむことができます。冬の星座の中には火星も見られ、色とりどりの冬の星に火星も合わさることでさらににぎやかさが増しています。火星の近くにはおうし座の「アルデバラン」、オリオン座の「ベテルギウス」と火星と似たような赤色やオレンジ色の星が見られます。火星は惑星の一つで太陽の光を反射して明るく見える天体ですが、アルデバランやベテルギウスのような恒星は自ら輝く天体です。色は同じように見えますが、それぞれの星を見てみると、恒星は夜空でキラキラとまたたいているのに対して、惑星はまたたいていません。ぜひこれらの星のまたたきに注目して探してみてください。

東の空で見られる春の星座では、しし座の「レグルス」やうしかい座の「アークトゥルス」、おとめ座の「スピカ」など明るい星を探してみましょう。夜空にはたくさんの星座たちが隠れています。２つの季節の星座をいくつ見つけることができるかチャレンジしてみてください。